

29. 義歯の調整（リライニング）

<到達目標>

- ・ 歯科医師の指示に従える
- ・ ステップごとに報告できる
- ・ 患者にこれから行うことの説明ができる
- ・ 必要器材を準備できる
- ・ 手順に従ってタイミングよく器材を手渡せる
- ・ リライニング材を適切な粉液比で練和できる
- ・ 患者に術後説明ができる
- ・ 後片付けができる

<設定場面>

下顎臼歯部のパーシャルデンチャーを使用中の患者が、咀嚼時の床下粘膜の疼痛を主訴に来院した。歯槽骨の吸収による義歯不適合と診断し、本日リライニングを行うこととなった。

<診療手順>

1. 患者の誘導と説明

歯科医師：衛生士、助手に今日の治療内容を伝え、患者の誘導と説明を指示する。

助手：患者をチェアに誘導する。必要な器材を準備する。

衛生士：処置内容を説明する。

2. 義歯の適合確認

必要器材：適合試験材（フィットチェッカー・PIP）
紙練板、スパチュラ

歯科医師：粘膜面をスリーウェイシリンジで乾燥し、適合試験材を粘膜面に塗る。

患者の口腔内に戻し、「咬みあわせてください」と患者に指示する。

義歯を口腔内から取り出し、適合試験材の流れ・厚さなどを確認する。

粘膜面の当たりがあったら調整して、試験材を塗りなおしこの操作をくり返す。

衛生士（助手）：患者に洗口を促す。

3. 粘膜面の除去 必要器材：技工用カーバイドバー

歯科医師：粘膜面を全面一層削去し、新鮮面を出す。

4. リライニング材の応用 必要器材：リライニング材セット（レジン粉末・液、
混和容器、接着剤、スパチュラ）、ガーゼ

歯科医師：接着剤を粘膜面に塗る。

つけない床外面には分離材を塗っておく。

衛生士：リライニング材の粉末と液を混ぜ、餅状にする。

歯科医師：餅状になった材料を粘膜面に均一の厚さに塗る。

刺激のあることを前もって説明した上で、義歯を患者の口腔内に戻し、
「噛みあわせてください」と指示する。

唇や頬粘膜を引っ張り、歯肉粘膜境界のマーキングをする。

患者に舌の運動を促す。

材料が硬化する前に義歯を取り出して余剰部を切り取り、改めて口腔
内に戻す。

5. 義歯の研磨 必要器材：技工用カーバードバー、ホワイトポイント、アブ
レーシブポイント、ペーパーポイント、床用シリコン
ポイント、鹿革ホイール、レジnlルーヂュ、咬合紙

歯科医師：余剰な部分をカーバイドバーで削り取った上で、口腔内に戻し適合を
確認する。

適合を確認し、口腔内から義歯を取り出し研磨する。

義歯を患者に返し、咬合紙で咬合関係を確認し、適合状態も改めて確
認してもらう。

6. 患者への説明

歯科医師：衛生士に患者への説明を指示する。

衛生士：患者に義歯の管理方法などを説明する。

歯科医師：助手に後片付けを指示する。

助手：後片付けをする。

29. 義歯の調整 (リライニング)

必要器材

- ①適合試験材 (フィットチェッカー・PIP) ②紙練板 ③スパチュラ ④ガーゼ
- ⑤リライニング材セット (レジン粉末・液、混和容器、接着剤、スパチュラ)
- ⑥技工用カーバイドバー ⑦ホワイトポイント ⑧アブレイシブポイント
- ⑨ペーパーポイント ⑩床用シリコンポイント ⑪鹿革ホイール ⑫咬合紙
- ⑬レジnlルーヂュ